

自立

自分のため

貢献

人のため

協働

いっしょに

## 石見養護学校グランドデザイン みちしるべ

石見養護学校は、石見町立(現 邑南町)の養護学校から始まった地域の中で育てられた学校です。県内の知的障がいの学校でいちばんに高等部を設置し、職業教育を始めた学校です。これからも、地域の中で育ち、育てられ、地域とのかかわりの中で、一人一人の思いや教育的ニーズを最大限に生かした「**オンリーワンの教育**」をめざします。

### 学校教育目標

夢をはぐくみ、未来を生きぬく力を育てる

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意志と態度を育てる
- 2 教育活動全体を通して、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる
- 3 「ひと・もの・こと」との出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる

めざす  
児童生徒の姿

- ◇ 夢や目標をもち、粘り強く挑戦し続ける児童生徒
- ◇ 思考し、他者に伝え、共に学び合おうとする児童生徒
- ◇ 礼儀正しく、思いやりのある児童生徒

### 家庭・地域と連携した石見養護学校の学びの図

育てたい資質・能力(重点)

やりとげる・乗り越える力

豊かな心

コミュニケーション力

小学部

中学部

高等部

かかわる力・体験から学ぶ力を育てる

仲間と共に学ぶ力・挑戦する力を育てる

他者と協働する力・自分の考えをもつ力を育てる

地域  
連携

地域の人々とかかわる／地域と人との交流

学んできたことを地域の中で生かす／地域の課題をみつけながら活動



小学部と石見東小との交流



邑南町「ウッドスタート事業」協働参加



各地域での作業品販売会



地域での貢献活動「草かりたい」

地域での「切れ目ない支援の充実」を支えます：特別支援教育のセンター的機能

令和8年度 島根県立石見養護学校 学校運営方針「みちしるべ」  
～ グランドデザイン ～

1 校訓 「自立(自分のため)」 「貢献(人のため)」 「協働(いっしょに)」

- ・自立とは、自分で考え、積極的に行動すること
  - ・貢献とは、自分以外のために役に立つよう力を尽くすこと
  - ・協働とは、目標を共有し、共に力を合わせて活動すること
- 学校・児童生徒・教職員がそれぞれの立場で「自立」「協働」「貢献」をめざします

2 本校の使命(スクールミッション)

特別支援教育の歴史ある学校として、邑智郡(石東地区)唯一の特別支援学校として、子どもたちの自立と社会参加や、地域の共生社会の実現に向かって、

- ・地域とのかかわりの中で、「オンリーワンの教育」をめざす
- ・特別支援教育のセンター的機能を充実させ、地域の中での役割を果たす

3 学校教育目標 夢をはぐくみ、未来を生き抜く力を育てる

- 1 学習に主体的に向かい、あきらめないで最後まで取り組む強い意思と態度を育てる
- 2 教育活動全体を通じて、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育てる
- 3 「ひと・もの・こと」の出会いを通して、思いやりの心や豊かな感性を育てる

4 めざす姿

\*太字:令和8年度重点

めざす学校の姿	めざす児童生徒の姿 (グラディエーション・ポリシー)	めざす教職員の姿
<p>◇<b>明るいあいさつと温かいことばが響き合う学校</b></p> <p>◇保護者・地域と連携・協力して、教育効果を高め合う学校</p> <p>◇健康で安全・安心に生活できる学校</p>	<p>◇夢や目標をもち、粘り強く挑戦し続ける児童生徒</p> <p>◇<b>思考し、他者に伝え、共に学び合おうとする児童生徒</b></p> <p>◇礼儀正しく、思いやりのある児童生徒</p>	<p>◇授業を大切にし、課題意識をもち研究・修養に努める教師</p> <p>◇確かな人権感覚をもち、豊かな人間性あふれる教師</p> <p>◇<b>組織の一員として共に考え、よりよくしようと行動する教師</b></p>

5 教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)

家庭・地域と連携した石見養護学校の学びの図

<9つの育てたい資質・能力>

主体的に学ぶ力／よりよくする・活用する力／やり遂げる・乗り越える力／生活習慣・健康・体力／豊かな心  
自分と他者を認める力／基礎・基本的な学力／考える・決める・選択する力／コミュニケーション力

- 9つの育てたい資質・能力をかがげ、家庭・地域と連携した教育を行います。
- 小学部～中学部～高等部の各段階での育てたい力を明確にし、一貫した支援を行います。
- 地域連携にかかる学習活動のねらいを示し、地域とのかかわりの中で学びます。
- 児童生徒の学ぶ意欲を引き出し、個々の目標に向かって進む「個別最適な学び」の充実をめざします。

6 今年度の重点目標(令和8年度, 2026年度)

① 「対話を通じた学校づくり」(コミュニケーション力・自分と他者を認める力)

- ・「4 めざす姿」の太字部分を重点に取り組む。
- ・対話を通して、自分の思いを他者に伝えようとするとともに、他者の意見に耳を傾け、共に学び合おうとする態度を育てる。
- ・人権意識を高め、お互いを尊重し合いながら、安心できる関係性の中で対話ができる教職員集団をめざす。

② 研修による専門性の向上

- ・授業力を高めるため、積極的な研修への参加によって、学び合い高め合う教職員集団をめざす。
- ・ICTを活用した授業づくりを積極的に行う。

\*今年度のキーワードは「おもいきって一歩ふみだそう」

(意識して欲しいこと)

【子どもも大人も、地域も学校も、おもいきって一歩ふみだそう】

歴史と伝統を大切に、これまでの取り組みを生かしつつ、これからの時代を、それぞれの地域で生き抜く子どもたちの自立と社会参加に向けて、「石見養護でできる」「石見養護だからできる」教育とは何か模索し実践していこう。

子どもも大人も、地域も学校も、おもいきって一歩ふみだそう！